

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q2 1 (感染性廃棄物、医療器具消毒、標準予防策、環境感染、尿路感染)

尿管カテーテルにつなげたバック内の尿を廃棄する際、集める容器は患者ごとに分けるべきでしょうか？病棟看護師から業務が煩雑との声があり、可能であれば一緒にしたいと考えています。下記の場合も含めてお教えいただければ幸いです。

1. 感染 (-)
2. 尿以外の部位 (咽頭・喀痰・便・血液) からMRSA、MDRPなど (+) だが、尿は未検
3. 尿からMRSA、MDRPなど (+)

スタッフからは廃棄の際の逆行性感染が心配との声がありました。

A2 1

尿の回収容器は、感染の有無にかかわらず患者ごと異なる清潔な容器を使用すべきです。また、採尿容器と排尿口が接触しないようにすることも大切です。

2009年に改訂されたCDCのガイドライン「Guideline for Prevention of Catheter Associated Urinary Tract Infections, 2009 (Centers for Disease Control and Prevention)」にも停滞のない尿流を維持するという項目、つまり逆行性感染につながる項目の一つとしてあげられています。残念ながら根拠となった研究論文をみつけることができませんでした。

回答者の施設でも、一部部署で採尿容器を患者間で共有してしまった事例で耐性菌の交差感染と思われる事例や、不適切な管理（清潔ではなかった）の容器を用いて環境菌が患者の尿から検出されるという事例がありました。適切な管理に変更してからは、このようなことはおきていません。

採尿容器と排尿口が接触しないように注意していても、撥ねや気づかない接触によって排尿口が汚染し、逆行性感染につながってしまいます。

排尿容器をからにただけで、次の患者に使用した場合も同様と思われます。したがって、患者ごとにして、その都度十分に洗浄するなどすべきです。

患者専用であれ、共用であれ、廃棄ごとに熱水洗浄するのが、尿器の保管という観点からも最も望ましい方法といえます。